



病院だより

第1号

広報HP委員会

みよし市三好町八和田山15

TEL 0561-33-3300

FAX 0561-33-3308

三好町の広報誌

昨年1月に三好町がみよし市にかわるとともに、三好町民病院もみよし市民病院と名称変更しリニューアルしました。それから早1年半が過ぎ、みよし市民病院の名も地域の方々に定着してきたのではないかと思います。これからは今まで以上に地域密着の医療を提供できるよう職員一同、一致団結していく所存です。

その一環として、このたび院内広報誌を刊行する運びとなりました。今話題の病気や治療法の他にも最新機器の紹介・スタッフ紹介など内容は盛り沢山にしていきたいと思えます。なにごんこの広報誌は生まれたいばかりですので、至らないことも多々生じると思えますが地域の皆様に見守られながら成長していきたいと思っております。広報誌についての御感想や御批判も逐一、受け付けておりますので併せて宜しくお願致します。

広報ホームページ委員会 一同

インフルエンザの基礎知識

Q1 インフルエンザとはどんな病気ですか？

A ● インフルエンザウイルスの感染により、突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が現れることが特徴です。

● 通常、高熱が数日持続し、1週間程度で回復します。しかし、時には、合併症を伴い重症になることもあります。

● インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、我が国では通常、11月から12月に始まり、翌年の1月から3月ごろの間に患者が増加します。

Q2 インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか？

A ● インフルエンザシーズン前にワクチン接種を受けることが、予防の基礎です。

● うがいや手洗いをしましょう。

● バランスのよい食事と、十分な休養をとる、疲労を避けましょう。

● 室内湿度を50〜60%に保ちましょう。

● 人込みや繁華街への外出を控えましょう。もし外出するときはマスクを着用すると良いでしょう。

Q3 インフルエンザにかかったら、どのようにすればよいですか？

A ● 水分を十分に補給しましょう。

● 安静にし、十分な休養が大切です。学校や職場は休みましょう。早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。

● 周りの方へうつさないために、マスクをつけましょう。外出を控えましょう。

● 薬を使う時は、医師や薬剤師の指示に従い正しく使用してください。薬を使用して何か異常だなど感じるような場合は早めに医師・薬剤師などにご相談ください。

Q4 感染の拡大を防ぐためにはどのようにしたらよいですか？

A ● 一人一人がインフルエンザにかからないようすること、また、かかってしまった時には、他の人にうつさないようにすることが大切です。



● 咳・くしゃみの際はティッシュ等で口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。

● 鼻汁・痰等を含んだティッシュをすぐに蓋付きのごみ箱に捨てられる環境を整える

● 咳をしている人にマスクの着用を促す。咳をしている場合、周りの方へうつさないために、マスクを着用する。マスクの使用は説明書を読んで、正しく着用する。

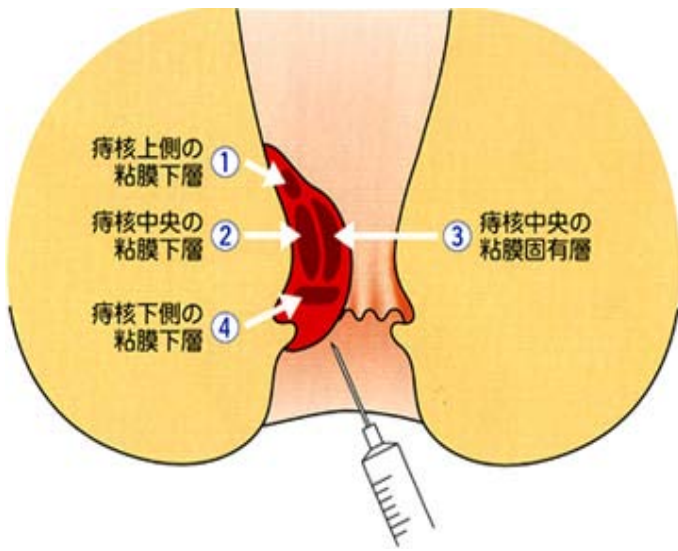
★ 最新の

内痔核治療



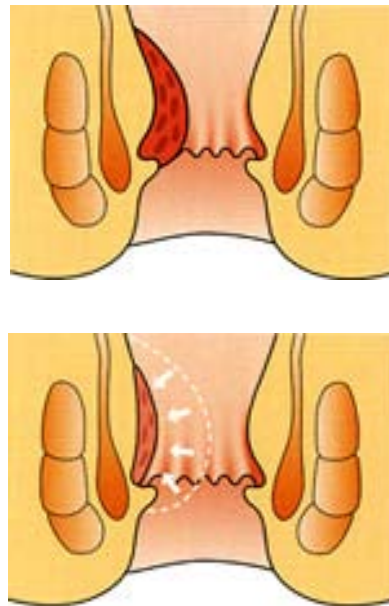
内痔核（イボ痔）は二足歩行する人間に特有の病気と言われています。症状には程度の差はありますが、患ってみえる方は実に多いです。

従来の治療はテレビのコマーシャルでおなじみの軟膏を主に使用し、治らなければ手術して切るのが一般的でした。しかし、



手術は痛くてつらそうだと敬遠される方が多いのも事実です。

そうしたなか、軟膏や手術の中間に位置するALTA（アルタ）療法が登場しました。この治療は特定の病院でしか受けられませんが、昨年から当院の外科で対応できるようになりました。



ALTA療法とはジオンという薬をひとつの内痔核に対して4カ所に分割して注射します。薬の作用で内痔核が固まり出血や脱出を治していきます。この治療は肛門周囲の局所麻酔か下半身麻酔で行いますが、切るわけではないので痛みはほとんどありません。血液をサラサラにする薬を飲んでいる場合でも、その薬を中止せずに可能です。また、手術よりも入院期間が短く、場合によっては入院も必要としません。これだけ書くと良いことばかりですが、残念ながらすべての内痔核に出

来るわけではありません。外痔核（外痔）や痔ろう（穴痔）などがあると出来ません。また、手術に比べると再発の可能性が少し上がります（しかし、再発しても繰り返し行うことも可能です）。

これを読んで内痔核でお悩みの方は当院の外科で気軽に御相談ください。ALTA療法をはじめ、その方に合った治療を考えていきたいと思えます。

